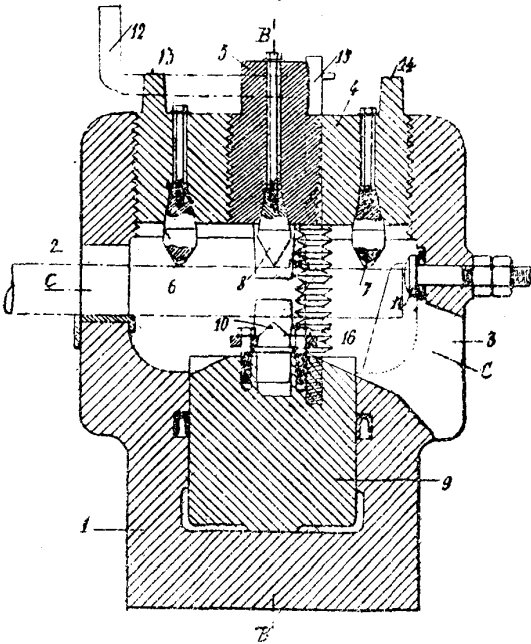


圖 一 第
圖面斷直垂の置装るせ示例を明發本



形字V(7)(6) 袖鋼(5) 頭絲螺(4) 筒壓高(1)
 フルボ留(11) 刃(10) 子啣(9) 刃鋼(8) 子留
 イヴルベ(61) 桿(15) 子留(14)(13) 手把(12)
 鐵座ユー

鋼桿切斷装置

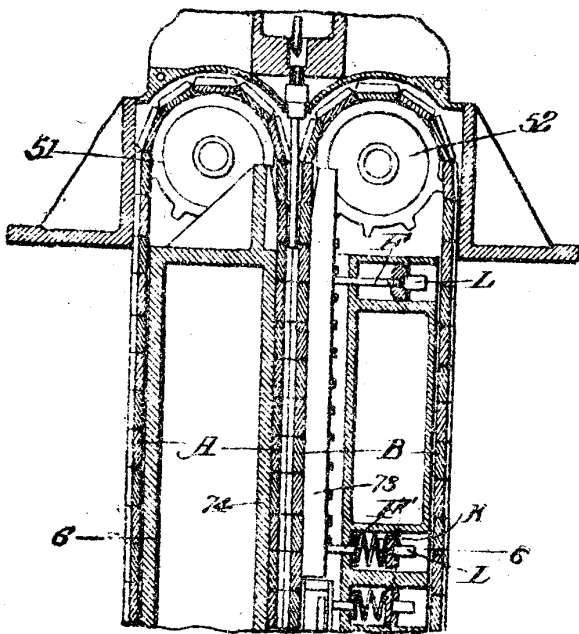
發明の性質及び目的の要領 本發明は主として一水壓機を包括し其の啣子は
 筒の頂に配置せられたる他の刃と共働する刃を備へ以て水壓機啣子の第一
 衝程に於ては水壓機に導き入れたる桿に其の軸線に對して直角の平面内
 於て二箇の比較的深き切込みを作り次に其第二衝程に於て上刃は除外せら
 れ下刃は桿を二箇の側方留子に對して強く壓し付け其結果先に刃の作れる
 切込の平面内に於て桿の破斷を生ぜしめ其斷分の長さは始め桿か機械に導
 き入れらるゝ時其の端か接衝する彈性留子に依りて決定せらるゝ如くせる
 鋼桿切斷装置に係り其目的とする所は作業を適確敏速ならしめ其作業能力
 を大ならしむるに在り

第三〇三二四號

大正五年四月十八日出願
 大正五年十一月十日特許
 特許者 佛國 ショウヴゴ
 權者 佛國 ショウヴゴ

雜 錄

圖 一 第
す示てに面斷を部一の械器本



發明の性質及び目的の要領 本發明は歩動鑄型節片の一系列を有する連續鑄造

連續鑄造器械の導装置

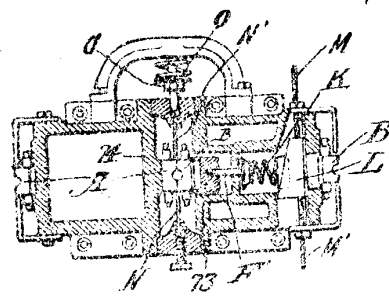
第三〇二一一號

大正五年二月一日出願
 大正五年十月二十一日特許
 特許者 米國 グレンヴィル
 權者 米國 グレンヴィル

特許請求の範圍 一、前文に詳記し且別圖に示せる如く刃を備へたる啣子を
 有する水壓機と該刃に合致し又合致せるを得へき當時固定せる第二刃と第
 二刃か合致状態より離れて動かされるとき一部分切斷せられたる桿を破
 斷する爲め啣子上の刃と共に共働すへき二箇の間隔ある留子とを包括し鋼
 桿を切斷するに供する装置 二、前文に詳記し且別圖に示せる如く切斷片
 の長さを調整する爲め桿の端に接吻すへき可撓的留子を包括せる請求範圍
 第一に述べたる装置 三、前文に詳記し且別圖に示せる如く本装置の匣に
 螺込まれ且間隔ある留子を支持する頭と頭と偏心的に螺付られ且つ第二刃
 を偏心的に支持する袖を廻すことに依りて該刃は第一刃に合致し又之と合
 致せざる加く動かさるゝを得へく又頭又は袖を廻はすことによりて間隔あ
 る留子の位置及び第二刃の常正位置か調整せらるる如へせる請求範圍第一
 に述べたる装置 四、前文に詳記し且別圖に示せる如き鋼桿切斷装置

器械に使用し該鑄型節片に接して之を押し付くる反撥板を有する道装置に係り其目的とする所は鑄型片の縦の接合面の間に障害物入りたる時道装置面の押し動かさるる局部的になし以て棒側に縦溝を作る缺點を除くにあり

第一圖の平面(6)-(6)に於ける断面圖



- (BA) 鑄型片
- (5251) 齒車
- (73) 道装置
- (74) 固定道装置
- (F) 柱
- (K) 撥條
- (L) 楔
- (M) 捻子
- (N) 側方道装置
- (O) 撥條
- (O) ナット

特許請求の範圍 一、本文に詳記し別紙均面に示す如く歩動鑄型節片の一系列を有する連續鑄造器械に於て該鑄型節片に接して之を押し付くる反撥板を有する道装置 二、本文に詳記し別紙均面に示す如く前記反撥板を壓する

一列の撥條を有する第一項記載の器械 三、本文に詳記し別紙均面に示す如く反撥板が一箇の本體の底を形成し該反撥板と該本體との間に撥條を置きたる第一項及第二項記載の器械 四、本文に詳記し別紙均面に示す如く前記本體か一端に近き所にて非可撓的に支持せられ他端にて可撓的に支持せらるる第一項及第三項記載の器械 五、本文に詳記し別紙均面に示す如く反撥的材料より成る板を本體に可動的に取り付けたる第一項及第三項記載の器械 六、本文に詳記し別紙均面に示す如く本體か其兩端に近く凹所を有し反撥金屬板の兩端は屈曲して該凹所に弛く入り込み該本體と該板と離れしめざる爲めの「ボルト」ありて該「ボルト」の幹は該本體中に自由になり得る様にしたる第一項及第五項記載の器械 七、本文に詳記し別紙均面に示す如く反撥板か鑄型の一組の背を押し付け固定導装置か鑄型その他組の背を押し付け又一箇の調節可能にして固定せる導装置と一箇の調節可能にして反撥的となる導装置とか該鑄型の合ひ目の縁の近くにて該鑄型の相反せる兩側を壓する様にせる第一項記載の器械

第三〇二二二三號

大正五年二月二十六日出願
大正五年十月二十三日特許
特許權者東京府清水仁三郎

水底鐵類搜索引揚裝置

發明の性質及び目的の要領 本裝置は船上より水底に沈下し又は水底土砂中に埋没せる鐵類の存在位置を電磁誘導作用に由りて電話受話器に感應せしむる探鐵器と稱する鐵類搜索器にて其所在を搜索し然る後壓力唧筒にて送水し鐵類上に累積せる砂を排除しつゝ電磁石に送電して強烈なる磁力を誘起せしめ鐵類を吸着し起重機の力にて引揚ぐるの裝置にして其目的とする處は潜水夫の容易に作業爲し能はざる水底に沈下せる鐵類と雖も水上より搜索して容易に且つ經濟的に引揚ぐるにあり

特許請求の範圍 本文所載の目的に於て本文に詳記せるか如く磁力線的作用に由りて電話受話器に感應せしむる探鐵器にて水中にある鐵類の存在位置を搜索し然る後壓力唧筒にて鐵類上に累積せる土砂を排除しつゝ電磁石に送電して強烈なる磁力を起さしめ鐵類を吸着し起重機にて引揚ぐるの裝置

第三〇二二一五號

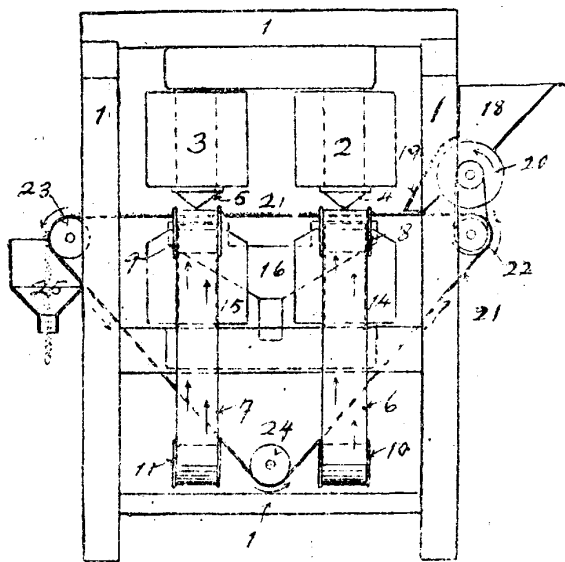
大正五年七月十一日出願
大正五年十月二十一日特許
特許權者東京府 佐藤英夫

電磁撰鑛機

發明の性質及び目的の要領 本發明は磁界内を碎鑛の搬送帯と抽出帯とを磁極端に於て交錯移動せしむることを特徴とせる電磁撰鑛機に係り尙ほ電磁器の磁極端に磁力線の差異を生ぜしむべく特殊の形態を與ふるを可とし其目的とする所は感磁鑽石を簡易に撰集し且つ數種の鑽石を感磁性の多少に依り各別に分類撰鑛せんとするにあり

特許請求の範圍 一、本文所載の目的を達する爲め本文に詳記し別紙均面に示す如く下部磁極端は平面にして上部磁極端は抽出帯運動方向と平行せる頂角線を有する上下一對又は數對の電磁器に依りて磁界を造り此磁界内を通して碎鑛の搬送帯を縱動せしめ之を越へて上部磁極に近く横動する抽出帯を各磁界に別箇に裝置し此抽出帯の下面に感磁性物質を吸引移動して殘留鑛と分離し連續的に撰鑛の作用を爲す所の磁界内に於ける調帶の交錯移動を主要部となす電磁撰鑛機 二、上部電磁極に裝置する冠金には傾斜の交叉にて成る頂角線を有し且つ第四圖又は第五圖の如く後方に嘴狀或は曲

第一圖 本機横側面圖



金冠の極磁(5)(4) 極磁電(3)(2) 杵持支(1) 電(15)(14) 輪動轉(10)(9)(8) 帶出抽(7)(6) (19) 斗漏出送鐵碎(18) 斗漏受採(16) 極磁(22) 帶送搬鐵碎(21) 輪轉用出送(20) 槓狀嘴斗漏受採(25) 輪動轉(24)(23)

腕狀の突起を有する上部電磁極よりなる第一項の電磁撰鐵機

●支那黑龍江省製鐵廠建設計畫 同省内は鐵鑛

豊富なるも之れに著目するものなく需用の鐵類は却て外國品を仰きつゝあり、依て同公署は適當の地を選んで模範製鐵廠を興し續て兵器廠をも添設し純粹の官營にて經營せんことを中央政府に申請する所ありたりと云ふ。

●支那山西省の鐵鑛 同省喜縣樊家山に於ける鐵鑛

は鑛量頗る豊富にして又附近より石炭を産出するに依り同地方人は株金を募り同地方に製鐵所を起さんとの計畫なり。

●支那鐵鑛維持方法 支那農商部は鑛業の將來に就

て今後各種の實業に對して積極的に其進行を計るべく先づ其政策として最も重要なる四箇條件を實行すへしと云ふ左

に鑛業に關する條項を拔萃すへし、

甲、鐵鑛維持方法

- 一、全國の鐵鑛を全部開放する事
 - 二、全國の鐵鑛調査研究をなす事
 - 三、製鐵事業を擴張する事
 - 四、鐵鑛、製鐵事業を獎勵し其辦法を講究する事
- 乙、鑛業税の輕減をなす事
- 一、金銀寶石等の各鑛業税百分の十を百分の一に減する事
 - 二、其他の各鑛業税百分の五を百分の一半に減する事
 - 三、純益金百分の五十を報効銀として政府に上納すへき規定を最減輕すべく改正する事

●迎午山タンングステン鑛 京奉鐵道瀋州驛の北方

五十支里遷完縣城の北方迎午山に於て同鑛を發見せしものありて財政廳に採掘を出願せる同金屬鑛は國家有用の鑛物にして軍器製作上必要缺くへからざるものなりとて政府は直に陸軍部に命し部員黃某を特派し同地にて實地の調査をなさしめ數塊の鑛石を採取し此程歸京し同部に於て之れを試験をなしたるに其含量多きを以て之れを農商部と協商し方法を設け相當の設備をなし之れを採掘し各製鐵所に供給し軍器の製造を獎勵すべく亦特に鑛業保護方法を講すへしと云ふ。

●漢冶萍煤鐵鑛有限公司近況 漢冶萍公司は中

國實業の精華にして輓近諸事整理に伴ひ好成績を呈せるは

別項の如くなるか左に近況を綜し同公司の一斑を窺ふに便にせんとす。

▲株主會開催 從來同公司の實權は盛氏の手中に歸し借款問題其他の事項は盛氏以外に參與するものなく積弊續出せり同氏死去後生前の彌縫發覺し株主間に紛擾を惹起せしむる憂あるを以て同公司は本年十月内に全國より株主を召集し株主會議を上海に開催し公私の關係を明かにし多年の積弊を一掃すへしと云ふ。

▲重役 督辦は孫寶琦氏任命せられたるか同氏は督辦の顯職希望者續出せるを採知し辭職を申出てしも北京政府は孫氏を適任者と認め辭職願を却可せり。

副總理は前に佛公使たりし李經芳氏にして經理には前米國公使たりし夏偕復氏總支配人は故盛宣懷氏の第四子にして米國にて採鑛冶金學を專攻したる盛鐸臣氏なり。

一、漢陽製鐵所

産額 大正四年の産額左の如し

マーチン鋼	三四、九〇六噸
銑鐵	一〇一、六三五
軌條	三〇、七七六
軟鋼類	一六、六二四

にして此等か地金の儘又は既成品となりて漢口より日本及支那諸港へ輸出せられたる數量左の如し

アングル 九二〇噸
棒 六四〇

軌條附屬品 一、三二〇

ジヨイスト 六三五

鐵板 五一六

軌條 四、二〇〇

銑鐵 支那諸港一八、二四六
日 本六五、八九〇 八四、二四六

にして輸出數量に於ては銑鐵大宗をなせり此外京漢粵漢等に陸路供給せられたるもの多きも詳知するを得ず。

因に大正三年の日本への銑鐵輸出高は五萬四千二百二噸なりき。

▲主要なる施設事項 大正四年度に於ける施設事項中既設未設の主要なるもの左の如し

一、大冶附近に建設中の大熔鑛爐二基（一基一晝夜の出銑か四百噸）にして完成の曉には一箇年八十萬噸の出銑をなすへしと云ふ。

一、Babeock & Wilcox Boiler, 八基の裝置

一、鋼製煙突一本

一、Turbo 式送風機一臺

一、漢陽製鐵所埠頭用起重機一臺

一、起鐵機一座

一、七十噸平爐一基

一、ドロマイト焙燒爐及磨鑛機四個

種別 數量

一、揚水江よりの吸水設備（僅かに澄水池及水道装置完備せり）

▲現業及従業員 漢陽製鐵所の現業は四千七百八十名にして其内譯左の如し

支那人技師 一七名

外國人技師及職工長 一〇（内日本人五人白耳義人一人獨逸人二人英國人二人）

外國人分析係 一

事務員 二五二

職工 二、〇〇〇

雜役 二、五〇〇

計 四、七八〇

▲大冶新廠 既報の如く漢陽製鐵所新廠は大冶縣石灰窑の下流袁家湖に建設の目的にて已に整地（一部の鐵道を含む）約九十萬坪買収を了し樹木及墳墓の移轉料に關し各所有者は價格の點に於て圓滿を缺きたるも廠長季維格の就任後銳任其事に當り異議なく解決を告げたり季氏の手腕は良に快刀亂麻を斷つの感あり。

新廠は差向き銑鐵部丈となし四百噸の大熔鑛爐二基を築造し其機械は先年坐辦吳潤之氏米國に出張注文したるか三井物産會社の手を経て十月末迄に到着の見込にして大正八年には諸事完成すへしと云ふ。

尙ほ敷地は地均工事中にて事務所建築公入札は漢陽製鐵所に於て之を行ひたるか日本人に落札せり。

廠長は季維格にして庶務會計其他の要部には英佛留學生たる新進の士を以て之に充て工務部は大島博士指導の下に日支兩國人を以て之に充つることとなり雇聘日本人技師の居住すへき假社宅は完成し十月末迄に七名赴任すへしと云ふ。

▲銀山頭滿僱鑛の落着 陽新縣銀山頭の滿僱鑛は數年來の懸案たりしか今回劉小山等調停の勞を執り雷委員と交渉の結果毎年三千六百元の公益捐を納めて製鐵所にて採鑛を續行することとなり圓滿なる調印を了せりと云ふ。

二、大冶鐵山

▲出鑛高 大正四年の出鑛高は空前の盛況を呈し其高五十四萬五千八百十九噸に達せり此内日本八幡製鐵所及室蘭製鋼所へ輸出したる高は三十萬四百噸に達せり由是觀之明治三十三年鐵鑛輸入開始以來大正四年度迄の總輸入高は二百五萬四千六百二十八噸となる勘定なり。

▲施設事項 日本及漢陽仕向鐵鑛逐年増加と四百噸爐二基建設の爲め所要鐵鑛激増を來たし將來は一箇年百五六十萬噸の出鑛をなさる可からず到底既設の設備にては供給意の如くならざるより山元及碼頭の改善を行ふと同時に從來の運鑛鐵道を復線となし機關車及運鑛車の購入並ひに製造に着手する等大多忙を極めつゝあり。

▲蕪湖に貯鑛場設置計畫 由來長江の水量は十月に入り減落し翌年三月末乃至四月末ならては増水せず一箇年中の約

半年は運鑛不可能なるかため夏期一時に運鑛船輻輳を見來りたるか三菱側にては今日の如き船腹拂底の時期に當り夏期のみに船舶を雇入れるは頗る不利なるより先年製鐵所側の贊同を経て同會社は蕪湖港居留地の下流にしてスタンダード石油會社タンクの直ぐ上流に貯鑛場として宏大なる土地を買収し諸事設備中なるかそは秋季江水減落後は大冶石灰窑よりライターに鑛石を積載し曳船にて蕪湖港貯鑛場に輸送し同地より汽船にて日本八幡製鐵所に搬出する計畫にて(江水減落時季中は蕪湖大冶間は河川用淺吃水船にあらざれば航行不可能なり)既に十月初旬試運を了せり。

三、萍鄉炭坑

は作業順調にして大正四年に石炭三十六萬五千噸骸炭二十七萬三千噸を産出せり同炭坑には日本以外に獨逸人四名英國人一名あり。

●安徽省桃沖鐵山近況

東洋製鐵會社は發起人會を九月十五日東京商業會議所に於て開き愈々其主要事業たる同鐵山を採鑛に着手し同鑛石は東洋製鐵に供給することとせりと云ふ。

▲鑛石 同山産鑛高は一箇年三十萬噸の豫算にして平均含有鐵分は五十五%に達するか故に一箇年の製鐵量は約十六萬噸の豫算なり而して採掘せる鑛石は全部之れを内地に輸送し九州に製鐵所を設置し其製鐵を爲すの計畫なり。

▲運鑛設備 蕪湖の上流二十六哩の菽港に築港を爲し運鑛

船三千噸級のものを自由に出入せしむるの設備を爲すべく而して同鐵山と同港間に四呎六寸の鐵道六哩半を敷設し之れに依りて年額三十萬噸の鑛石を運搬するの計畫にて豫定線の測量を進行中なるか本年十一月中には實測を了する豫定なり同鐵道を要する材料は一切日本より輸入する手筈にて目下鐵道技師二名出張中なり其他鑛山技師二名測量技師三名合計七名の日本技師は事業の實測に従事し着々進捗中なり。

▲着手期 昨年の豫定にては同鑛山は本年十月中に實測を終了し明年四月頃より採掘に従事する筈なりしも種々の事情の爲め三四箇月遅延を來せるを以て採掘に着手するは明年八月頃なるへしと云ふ。

▲鑛量 技師の測定に依れば桃沖山全部の鑛量は約五千萬噸にして今之れを假りに一箇年五十萬噸宛を採掘するも尙ほ一百年の採掘に堪ふる譯にして若し一箇年三十萬噸を採掘し得るとせば百十餘箇年を費すこととなるへしと云ふ。

▲鑛區 尙ほ公司か獲得せる鑛區は安徽省懷寧縣炭坑及江西省饒州樂平縣明山炭坑の二鑛區にして此等鑛區に就ては此際新規に株式會社を設立すること同公司に於て直接經營する事となるへきかと云ふ。

●廣東省北海港輸出の滿俺鑛に就て 欽廉道北海港より昨年二月及十二月の二回に三千九百〇二噸の滿俺鑛石を日本八幡製鐵所に輸出したり産地は北海港を距る二

百五十支里八角灣地方の那大(地名)にして交通不便なり目下裕欽公司は同權利を獲得し土法に依り採掘に従事せり鑛量は相當に多量なるも燐分の含有量多きため收利を得るに至らずと云ふ。

●江蘇省鳳凰山鐵鑛近況

同鑛山は同省人の反對に依り一時紛騒を惹起し某國との借款契約を破棄することとなりたるか其後同省長は同省代表に其鑛權を許可し更に一般の組織を變更し華寧公司を改めて秣陵公司と名稱し特に代表者を上京せしめたり要するに同鐵鑛問題は牽制餘黨に對する民黨の攻撃資料に供せられ居るもの如く更に進んで云はんか江蘇省に於ける民黨の勢力を擴張するの魂膽に外ならざるへし最近の報に依れば南京公民二百萬人は中央政府に向つて鳳凰山鐵鑛山に就ては楊廷棟等の運動を受くる勿れと打電せりと云ふ。

●製鐵業の保護法

谷農商長は全國に於ける鐵の需要日に増加せるも現今製鐵事業は漢陽製鐵廠を除く外其他山西及直隸等に二三製鐵廠ありと雖とも微々として振はす唯舊慣を墨守し進歩の狀を見ず然るに各國事業を見るに悉く政府特別の保護を加へ或は政府直營となし其發賣を民間實業家に任し海外輸出を奨勵し輸入鐵には重税を課し以て製鐵事業の保護を爲しつつあり依つて今後此辦法に倣ひ保護法を設け國利を増進せんことを國務會議に提出せりと云ふ其大綱左の如し。

一、三百萬元以上の製鐵會社に對しては農商部に於て事實調査を爲し登録の上同部の保護を受くることを得。

二、製鐵會社は部令を遵守し毎年所定の成品を製出すべし。

三、農商部に監督官一人を派し會社の帳簿及其事業一切を監督すべし。

四、會社の營業決算は株主に對し利益の配當を爲すこと能はず或は六歩の配當をなし能はざる時は政府は擔保補足を。

五、同會社の保護期限は登記後滿二十箇年を以て一期間とす。

●沿黑龍江地方鐵鑛採掘額

○鐵 鑛

千九百十五年中沿黑龍江總督府管内に於て鐵鑛の採掘をなしたるは烏蘇里鑛山管區のみにして同管區内の鑛區は十八箇所其中重なるものは左の如し。

經營許可を受けたるもの	所在地
ピヤンコーフ兄弟商會	ムラモルヌイ岬 四箇所
セルギエフスキエ鐵鑛會社	烏蘇里鐵道タールイ驛附近 四箇所

右十八箇所の鑛區中千九百十五年中採掘をなしたるは七箇所に止まれるか其採掘高左の如し(單位布度)

一九一二年	一〇一、六〇〇	一九一四年	七三、一八〇
一九一三年	七三、三九六	一九一五年	五一、九四〇

千九百十五年の採掘高は法規の最小限度を超過すること
僅に千九百四十布度にして孰れも商品として販賣せられさ
りき。

之を要するに當地方鐵鑛業の現状は鐵石に對する確實な
る販路なきと此富源を充分に開拓經營するに足る企業家の
缺乏せる爲め試掘或は義務最小採掘高以上に發達せざるの
域にあり。

然るに最近當地方に於ける鐵及同製品の需要多きこと及
日本に於ける鐵鑛石及鐵に對する需要多きを指摘し之か爲
に當地方に銑鐵製煉所を設け其製品を供給するを利益なり
とするの見地より専門家の間に盛に論議せられつゝある由
にして鐵鑛の所在地に關し地質學者ポレウオイ氏の調査と
稱せらるゝもの左の如し。

一、アノソフスコエ又はストルポフスコエ 黒龍江上エ
カテリノ、ニコリスカヤ村より北方二十二露里のルー
ドナヤ、ガラーの山麓に在り其鑛量アノソフの計算
に據れば六千九百萬布度バツエウイチの計算に據れば
一億布度にして鐵分三割乃至五割五分を占む。

二、カイランシルスコエ及プラクスコエ アノソフスコ
エより北北東の方向に在る赤鐵鑛にして是れか調査を
公表したるコンスタントフ氏は鑛量の計數を舉示せさ
りしも經濟上より見て充分に注意する價值ありとせ
り。

三、ニコラエウスク市附近褐鐵鑛 其鑛量はロバーチン
の計算に據れば五千萬布度ボゴリュブスキに據れば
一億二千五百萬布度バツエウチイは之より尙多しとし
ボグダノウイは試掘の結果五千萬布度とするも多き
に過くと推斷せり鑛分は四割三分とす。

四、オリガ鐵鑛山 浦潮斯徳を距る東北方百哩、聖オリ
ガ灣及聖ウラジミル灣附近にあり四億布度以上の鑛
石を有す。

五、セルギエフスキエ鐵鑛山 烏蘇里鐵道ホルフトーウ
ー及グロデコーウー兩驛間に在る待避驛タールイより
五露里の地點に在り鑛層七サージエンに達し其量はペ
トロフの計算に據れば一億五千萬布度にして六割の鐵
分を含む。

尙本鑛山はセルギエフスキエ鐵鑛會社に於て採掘權を
得たるものにして同鑛山の實際營業上の價值に關しては
沿黒龍江鑛山廳よりアネルト氏に託して調査中なる
由

次に製煉に要する燃料たる石炭及コークスはスーチャン
炭及樺太炭を利用するときはオリガ附近及セルギエフスキ
鑛山採掘鑛石製煉は容易なるを以て此點に關しては多く介
意するを要せず、之か爲に樺太アレキサンドロフスクの港
灣修築を一層緊要なりとせり。

前記の鐵鑛山經營上の價值に關してはアノソフスコエ、

カイランシユールスコエ及プラクスコエ鑛山に於ける製煉幾何の程度迄如何なる燃料を獲得し得るやを以て先決問題とす。

木炭を以て製煉するは可能なるへきも從來の經驗に據れば製鐵の發達に資すること能はざる由にてニコラエウスク市附近の褐鐵鑛の製煉は同所に於て獨立經營し難きも之を熔解力鈍きオリガ灣附近産出の磁鐵鑛製煉に際し混合するを得べく工業上價値ありとせらるゝは特にセルギエフスキエ及オリガ地方にして製煉所の位置としてはオリガを選定すへきか浦潮斯德にすへきやに關し最近盛に論議せられつゝある由にしてポレウオーイ氏はオリガ附近に右工場を建設せんとし之に要する費用は五百萬留と計上しペトロフ氏はゼルギエフスキエ鑛山の鑛石を使用するを利益とし其工場建設費を三百萬留と計上せりと云ふ。

●日本特種鋼會社の近況

同社は府下大森町海岸に在りて瓦斯會社のタンクを自當に海岸に行けは直く其近傍にあり記者は去る日同所を訪問せるか社長と舊知の技師長も不在にして支配人高妻氏に面談の上工場參觀の許可を乞ひしに技師長不在の故を以て遺憾ながら拒絕せられたり、仄かに聞く所に依れば同社現今の製産高は工具鋼其他の特種鋼を合せて一箇月七八十噸製出する由なるか更に平爐并に壓延工場を設置し完成の曉には炭素鋼一千二百噸特種鋼三百噸を産出する豫定なりと云ふ。

●電氣製鋼所現況

名古屋市の株式會社電氣製鋼所は本年八月成立後直に名古屋電燈の熱田工場を繼承して鐵合金の製造を開始したるか恰も輸入品缺乏の好期に會せる事とて良好なる賣行を見且つ砲兵工廠を始め各製鐵所の注文輻輳し今期に入りても一般の需用状態は依然良好なるより早晚工場の擴張を行ひて現在製品たる鐵合金の外に高速度鋼炭素工具鋼の製造も開始する豫定也と。

●炭礦製鐵分離内定

目下擴張工事中なる北海道炭礦汽船會社の輪西製鐵所は來年三月頃竣成すへきか三井にては該製鐵所を炭礦と分離し三井系にて一大製鐵會社を設立する計畫あり調査中なりしか先頃之を北海炭礦の重役會に正式提議し協議の結果製鐵所を分離して獨立新會社とするに決し分離の方法評價價格等に就て目下内議中なるか新製鐵會社は約二千五百萬圓位の資本金となす由

●東京製鋼大島製鋼所の規模

工場の設備

鑄造工場には最新式オープンハース拾噸溶解爐貳基及之れに適應せる瓦斯發生爐を設備し晝夜の溶解量優に四拾噸を製出すべく、尙目下貳拾五噸溶解爐の増設に着手中なり。

木型工場には鋸機械、鉋機械、旋盤等の木工機械を完備して模型の製作に従事す。

鑄造工場は總鐵骨建築にして梁上には貳拾五噸壹基及五

噸貳基の天井移動電動起重機を運轉し鑄型乾燥爐貳基、鑄造品燒鈍爐を備へて各鑄鋼、鑄鐵品並に鍛鍊用鋼塊の製作に十分なる設備をなせり。

鍛冶工場 には瓦斯發生爐及紅烙爐を裝置し目下は三臺の蒸汽鐵鎚と最新式六百噸水壓鍛煉機を据付け拾噸天井移動電動起重機を備へて船舶用品及各種軸類砲煩、水雷等の用品其他一切の鍛鋼品の製作に供す。

更に大型品製造の爲め貳千噸水壓鍛鍊機据付けに着手中なり。

機械工場 には旋盤、立削機、整輪機、鑽孔機、平削機、研磨機等各種斬新なる工作用機械百拾餘臺を網羅し各種齒輪の齒切をなす爲め自働齒切機をも設備し長大軸類等の旋削用として大型旋盤をも用意せり尙運搬用としては貳臺の電動天井移動起重機を運轉す、特に鑄造品清掃等の爲め空氣壓搾機を車軸嵌込の爲めには水壓機を具備せり。

材料試験室及分析室 には各種試験器を完備し耐力試験には最も精巧なる五拾噸オルセン式試験機械を、硬度試験にはプリネル硬度計を備へて分析室と兩々相俟ち原料製品の如何を問はず一切の材料に對する綿密なる物理及化學的試験を施し殊に日々作業する所の溶鋼爐合金爐の製品及鍛鋼品等には悉く之れか豫備的の試験を了へて加工す。

此外合金工場は鑄造工場と連接して自然通風爐を備へ砲

金、磷青銅、黃銅諸種の合金材及加工品の製作に従事す。

以上は僅かに工場設備の概略を述べたるに過ぎず。工場全製造能力壹年壹萬五千噸餘の見込にして鑄鋼品壹個の最大重量貳拾噸のものを製作するを得べく尙新規増設に着手せる貳拾五噸溶解爐及貳千噸水壓鍛鍊機其他機械工場等の擴張工事竣功の曉に於ては其發展刮目して見るべし。

主要製品

主として鑄鋼品、鍛鋼品、ニッケル鋼、滿俺鋼其他特種鋼並に黃銅、青銅、滿俺青銅、磷青銅、眞鍮鑄物の各種製品にして尙銑鐵鑄物をも製作する由。

●日本鐵合金株式會社の設立 同社は鐵合金各種の製造及其他電氣化學工業品製造の目的にて創立されたる十一月二十六日設立登記を終りたる由。

資本金

七萬五千圓

本店

群馬縣山田郡大間々町

●東洋製鋼設立計畫

大阪市の一部當業者並に有志

者相謀り今回鋼材の製造及之れか工具製作を目的とし資本金百萬圓を以て東洋製鋼所設立の計畫あり、同社は第一回四分の一拂込二十五萬圓を使用して專賣特許を得たる電氣爐と獨特の技術により古鐵煉鐵の集散地たる阪神間に工場を設け年五割の利益配當をなし得る豫算なりと。

●東海鋼業創立總會

大川平三郎氏等を中心として計畫されたる資本金三百萬圓の同會社は二十八日日本橋俱樂部に於て創立總會を開き發起人服部金太郎氏議長席に着き創立に關する必要な議案を議了し左の如く重役を選擧し引續き株主總會に移り岡崎久次郎氏より詳細に會社の目論見並に製品の目的を陳述する處ありたり尙技師長は前製鐵所工務部長たりし工學士片山謹一郎氏にて急速に各種の設計を終り遅くも來年十月には製品を見るに至るへしと

△社長 大川平三郎

△取締役 岡崎久次郎、白石元治郎、田中榮八郎、中村房

次郎、木村庫之助、片山謹一郎

△監査役 下郷傳平、茂木惣兵衛、武藤嘉門

●世界最高の大煙突

(巴里エツフェル塔より高さ事六十七呎)

東京市丸の内、東洋コンプレツソル株式會社にては、過般來米國ウエバー煙突會社の特許權を得、全国各地の需要に應じ最新式鐵筋コンクリート煙突を建造中なるか、就中大分縣佐賀關久原製鍊所構内に築造中の煙突は、海面一千六十七呎の高さにして佛都巴里のエツフェル塔より高さこたと六十七呎なりといふ。前代未聞の大煙突である。

該煙突は五百呎の丘上に、直徑四十二呎深さ十七呎の基礎工事を爲し、高さ五百五十呎、頂上内徑二十六呎三吋のものにして、其の過半には耐酸劑を塗布し、亞硫酸瓦斯等

の侵蝕力を防ぎ、最も完全なるもの、由、而して目下四百八十呎の高さ迄施工し遅くも年内には全部竣成する見込にて此の期間僅に入箇月なりといふ。

●製鐵調査委員會

製鐵業調査會標準規格制定特別委員會は二十四日午後一時より農商務省に開會福田委員長以下各委員並に本省より上山次官、磯部鑛山局長列席製鐵所より取り寄せたる調査材料を基礎として前回に引續き審議を重ね四時散會したり。

因に製鐵業調査會特別委員會は明日を以て愈々全部終了し來る三十日頃總會を開きて最後の決定を爲し一と先づ閉會する豫定なりと云ふ。

●製鐵調査委員會

製鐵調査會の特別委員會は二十五日午後一時より農商務省に開會福田委員長以下各委員及磯部鑛山局長山内鑛政課長出席前日に引續き標準規格制定に關する件に就き審議し草案の作成を完了して同四時散會したり。

●製鐵調査終了

製鐵業調査會標準規格制定特別委員會並に將來に於ける鋼材需要品種別調査特別委員會は二十九日午前九時より農商務省會議室に於て開會寺野、服部門野、香村、福井、原田、俵、阪田、丸田、大河内、中村島、高崎、和田、渡邊、鈴木、福田、島川、(松方、井上缺席)の各委員並に上山農商務次官、磯部鑛山局長、山内、細井兩課長、萩原製鐵所技師等列席前回に引續き審議の結果

夫々本會議に附議す可き成案を決定し十時より本會議に入り中村雄次郎氏を議長に推し、標準規格制定に關し當該委員長福田氏より委員會の經過及び結果を報告する所あり種々質問應答ありしか結局委員長報告通り可決確定正午休憩午後一時半再開鋼材種別調査の結果に就き高崎委員長の報告あり全會一致之れを承認したり此時仲小路農相臨席別項の如き挨拶あり三時散會せり因に同調査會は之を以て當局の諮問事項並に各委員の提案全部を議了したれば閉會せらるゝ事となりたるか決議事項は直に農商務大臣に答申したれば近日公表せらる可しと云ふ。

△農相の挨拶

本會設立以來比較的短期間なるに拘らず諮問事項に對し適切有益なる答申を得たるは國家の爲め慶賀に堪へず余は農商務大臣として出來得る限り御答申の主旨を尊重し我國目下の急務なる製鐵業の發達を實現せん事を期す可し茲に各位の御精勵に對し謝意を表す

●製鐵獎勵法内容

農商務省か來議會に提出すべく内定せる製鐵業獎勵法案は目下同省參事官會議に於て審議中にして近く結了の上は大臣の決裁を経て内務大藏兩大臣の同意を求むる筈なるか該法案は全文十二ヶ條にして其要項を示せば左の如し。

(一)年額三萬五千噸以上の銑鐵生産能力(銑鐵を基礎とし製鋼事業を爲すものを含む)を有する製鐵所の敷地に

土地收用法を適用すること。

(二)國有林野にして製鐵所敷地に必要なるものは差支なき限り特賣又は長期貸付を許可すること

(三)年額三萬五千噸以上の製鐵又は製鋼能力を有する製鐵所を設立するものに對しては事業開始の翌年より向ふ十ヶ年間營業稅所得稅府縣稅市町村稅等一切を免除すること。

(四)同上製鐵所の鐵鑛に對しては移輸入税を免除すること。

(五)同上製鐵所工場用建物材料は移輸入税を免除すること。

(六)朝鮮に於て設立する製鐵所の生産品に對しては移輸入税を賦課せざること。

●製鐵獎勵の骨子

別項所較の如く製鐵業調査會は委員會の報告を全部可決しなるを以て仲小路會頭は答申案を作製し仲小路農相に之を報告する事となりたり右に就き仲小路農相の談る所に依れば今期議會に提出せらるべき製鐵獎勵法案は同調査會の答申案を骨子として原案を作製する筈なるか同法案中の要項たる年額三萬五千噸以上の生産を爲す事業會社に對して其敷地及び用地に對し土地收用法の適用を得せしむべき事、所要の機械類に對しては輸入關稅を免除する事、原料鑛石の輸入關稅免除のこと等大藏省始め其他關係各省の賛成を求むべき點あれば、之れ

迄に大體内諾を得たるも今後正式に承諾を求めて急遽成案を得る考へなり、同法案は國家的に重要なる意義を含めるものとして貴族院始め民間有識者の荐に唱導せし事にして近く同法案の適用によりて東洋製鐵會社等も設立さるゝ等なれば議會の通過は疑ふ餘地なく本調査會の終了と共に多年の懸案も先つ一段落を告げたるものと言ふへし云々。

●**銑鐵鋼材需給額** 農商務省の調査に依れば最近五箇年間に於ける本邦銑鐵及び鋼材の消費額は左の如し。

▲銑鐵消費額 (單位千噸)	
年 別	内地産
明治四四年	二二二
大正 元年	三三二
同 二年	四二二
同 三年	四六一
同 四年	五一一

▲鋼材消費額 (單位千噸)

年 別	内地産	外國輸入
明治四四年	一九一	四八八
大正 元年	二一九	六四〇
同 二年	二五四	五四三
同 三年	二八二	四〇八
同 四年	三三五	二四三

右の如くにして我製鐵及製鋼事業が逐年秩序的に發達しつゝありて時局前後の製出狀況を對比するも其極めて自然的系統的なることを知り得へし但し右表中銑鐵、鋼材の輸入額が戦後減退の一方なるは之か供給國たる諸外國か軍需

品の關係上其供給を制限せるに基因するものなり且つ一たひ其使用する鐵鑛額の如何に想到する時は如何に我内地に於ける鐵鑛産出額か貧弱なるかに驚くへし最近五年間に於ける使用鐵鑛額は即ち左の如し。(單位千噸)

年 別	内地産	朝鮮移入	外國輸入
明治四四年	一二四	一〇七	一二五
大正 元年	一五二	一三三	一九九
同 二年	一五三	一四二	二八〇
同 三年	一一一	一六二	二九九
同 四年	一一四	二〇三	三〇九

●**桃冲鐵山合辦反對** 安徽桃冲鐵山採掘は邦人か南方支那に於て獲たる日支合辦事業中漢冶萍煤鐵公司及安川

敬一郎氏との契約に成る製鐵事業と共に最も有望なる事業にして東洋製鐵會社の如きは原料を桃冲鐵山に仰く豫定にて計畫せられ又近く開業せんとする日華銀行の如きも此鑛山業と密接の關係を有するものにて中日實業公司是本年三月中採掘特許權の認可を受け現に入ヶ月の豫定を以て揚子江岸荻港より約五哩の鐵道敷設中なり然るに昨今に至り之に對する支那人の反對論再燃し上海在住の安徽省人及び議會の問題とし支那側の代表者即ち裕繁公司重役霍守華なるもの、違法行爲を算へて彼を法廷に拉致せよと要求し極力日支合辦を阻礙するに努めつゝあり在上海安徽人の公開書に據れば同鑛山の採掘に就き裕繁公司是未だ中央政府若くは地方官より採掘、鐵道敷設等に就き何等の認可をも受け居らず省長倪嗣中のみ中日實業公司より三十萬元の借債あ

るものゝ如くなれと省議會に提出されたる議案とは多少の相違あり其要點左の如し。

奸商(霍を指す)は民國二年十一月桃冲其他の勸査に就き其筋の許可權を得同年更に鐵區五百餘畝の採掘許可證と交換を請ひたるも當局は未だ許可せざりき越えて四年夏秋の交に至り同商は自由行動に出てたれば周學熙、李經羲等は同商が外國人の勢力を藉り安徽の鐵産を盜賣せるを憤り屢々當局と力争したり是に於て同商は鐵石賣買の名を假りて鐵山權を賣らんと圖りしも失敗したり然るに民國五年一月農商部は日本人森格と鐵石賣買契約を結び安徽に移牒したれば省當局は之を批准せり次て同商は更に鐵區擴張、技師及其助手の招聘、爆發藥購入、鐵道敷設等の認可を請ひたれば一々之を分別して批准すべきは批准し今猶批准せられざるものは萩港に於ける鐵石揚卸の埠頭築造及び日本人の鐵道敷設技師招聘の二件のみ但し既に批准したる所を全部反覆すれば國際交渉を引起さすとも限らず、今中日實業公司と支那側との契約書を調査するに(一)收益(二)使用(三)處分の三點は支那側にて自由に主張するを得ず皆他の(日本側の)製肘を受く即ち鐵權に損なしと謂ふへからざるなり。日本人は利を嗜むこと生命の如く一度得たるものを漫然放棄するか如きこと決してなし最も注目すべきは此點なり云々。

●交戰中に於ける露國製鐵業界 目下露國に於

ける各製鐵所は主として政府の軍需品の製造に従事し僅に其幾分を民間日用品の製産に充つるものなれば従て政府間接の保護を受くる事尠からず例せば鐵鑛採掘又は是等に關聯せる作業に捕虜を使役し又は製鐵所就業員の徵兵を猶豫せしめらるゝか如き其他政府に於て鐵山附近の道路を改修し又は工業用燃料の供給鐵道輸送の便宜を與ふる等何れも營業者の保護を怠らざるも一般營業上の納税に關しては戰前と異なる事なく他の工業と均しく其税金を免除せらるゝ事なし由來製鐵業は他の鑛業假へは金銀、白金、銅等に

比し遙に低率の工場製産税一布度に付一哥四分の一を課せらるゝのみにて力めて其發達を獎勵し居れり其鐵山採掘權の如きも公權を剝奪せられたるもの又は居住權を有せざる猶太人を除く外内外人共等しく之を有する事を得僅に土地の狀況により例外あるのみ而して是等例外と雖も所屬總督を經へ内務及び大藏の認可を得之に従事するを得る事とせられ又關稅政策上成へく内國産の獎勵を圖り力めて外國品の輸入を防止するにあるものゝ如し其稅率歐路に於ては製鐵一布度に對し種類により九十哥一留八十哥を課し此外戰時稅一割の附加稅ありて未だ重稅と云ふ能はざるも其製品に至りては一布度に付二留五十五哥乃至二十八留八十哥外に戰時稅一割を課し殊に戰前は海路輸入品に對して比較的 low 率を適用せるも陸路獨逸國境を經由するものに對して前記最高の税金を徵收せり是等稅率表に付き更に細檢すれば僅に農具類又は機械原料品を除くの外一般製鐵品の輸入を防遏し自國産の保護に任ずるは明かなり露國に於て製鐵業の最も發達せるは南露地方にして亞くにウラル、及波蘭地方とす後者は目下既に敵軍に占領せられたればウラルに亞くは中央部即ち莫斯科附近地方なり千九百十五年には内國産製鐵は一般に不況と云ふ能はざるも同時に外國品の輸入著しく増加し歐露のみにて三百九十萬フールドに上り前年に比し百十萬フールドを増し鋼鐵は二百七十萬フールドに達し前年より七十萬フールドを超過せり。

●造船規程改正要旨

遞信省にては造船規程改正の必要を感じ本年六月海軍部長及船舶主任官會議召集に際し大學教授民間當業者等の參集を求めて其意見を聽取し之等を參酌して今回の改正案を立てたるか昨今漸く省議の決定を見去る廿二日發表せられ愈々來一月一日より實施の豫定なり。尙該改正は全文四百七十二條に亘る極めて浩瀚のものなるか其要點を示せば左の如し。

一、造船技術の進歩に伴ふ爲規程の條項に改正を加へたること

舊規程制定以來造船技術の進歩に伴ひ各部構造の改善、工費の節約、材料の輕減を目的とし各國に於ける造船規程も亦改正せられたるもの多きを以て此等を參酌し船首尾防撓構造の改善、大形外板固著方の輕減、艙内縦通材の省略大形旅客船の局部補強構造の改善、覆甲板船及遮浪甲板船の材料寸法の輕減等の規定を加へ舵、二重底等に關する規定にして舊式構造に屬するものは之を省き、又帆船の構造規定を簡約したる等規程の全般を通し其の條項に改正を加へたり。

二、近海航船及小形船の材料寸法を輕減したること

三、萬國海上安全會議の決議を參酌したること

四、英國商船滿載喫水線調査委員會の報告を參酌したること

英國政府に於ては大戰終了後商船滿載喫水線に關する萬國會議開催の時期に於て英國政府より提出すべき案を決定する爲曩に商船滿載喫水線調査委員會を組織し該委員會は已に其の成案を發表したり該案中暴露甲板上の諸口に關するものは世界的共通規定となるべきものにして既に英國に於ては之を採用せるを以て我改正規程に於ても之を採用し以て船舶の安全率の増加を期したり

五、各種船の船體重量の輕減を圖りたること

前段記載の通り船舶の使用の目的に應し其の構造方法を改善し同時に材料の輕減と工費の節約とを圖りたるを以て其の結果として船舶の載貨率を増加し經濟的船舶の建造を誘導せんとす新規程に依るときは船舶の種類に依り差等あるも船體の重量は百分の五内外減少の見込なり

六、油船の構造規定を新設したること

七、材料試験に關する規定を改正したること

材料試験に關する舊規定は製鋼所に於て材料製産の際材料検査を行ふ能はざる輸入鋼材を標準として制定せられたるものなりしか輒近我國製鋼業は著しき發達を爲したるを以て材料製産の際直に材料検査を行ふに適切なる規定を設け且一般材料試験に關する規定に付内地製鋼に適切なる規定を設けたり

八、發動機に關する規定を新設したること

輒近發動機の普及に伴ひ其の構造に關する取締の必要を認め海外の規程を參考し從來の實際に基きディーゼル機關を除くの外一般發動機に關する規定を設け構造の標準を示し使用者の安全を計るの方針を採りたり

九、艤裝品の適否を檢定する規定を設けたること

輒近造船補助工業の發達に伴ひ船舶艤裝品中内地製品を供用するもの俄に増加したるも製品の品質精粗ならざるを以て之か適否を檢定するの必要を認め之に關する規定を設け將來益斯業の健全なる發達を期したり

十、規程全般を通し條文の簡明を期したること

●水底に在る鐵の採取

歐洲戰爭このかた鐵の値

段か暴騰したので河の底から鐵屑を掬ひ上げる事を職業にしてゐる者が多くなつた鷺見水上署長の調べさせた所によると、市及び市の附近の水底から採れる鐵屑は一日平均百五十貫目、その中堅川筋が一番多く三十三貫目、品川沿岸は三十一貫目、外濠十五貫目、目黒川筋十四貫目、大森附近十貫目、築地川、石川島、芝浦各五貫目、大井海岸は三貫目位たといふ職業にしてゐる人は、何のくらゐの收入があるかといふと、一人平均三十錢乃至五十二錢たろうとの事、一方には橋の金具の鐵、船舶の銅等を盗む者か激しく増して來たので、其筋では大に警戒をしてゐる、

●鐵材關稅問題

海運界の好景氣に乘し造船業者か建造計畫せるストック船に對し遞信省にて造船獎勵金下附の指令を差控へ且今期議會に於て獎勵金を減することとすへしとの内議ある一方にては内地製鐵業保護の爲め鐵材の輸入税引上を主張しつゝあり鐵材の關係は八幡製鐵所創立の際一度引上げられしものにして又引上を爲すは需要者の苦痛なるへきも内地産業保護の爲めには已むを得ざるやも知れず併し之か爲造船業者の苦痛は甚しかるへく斯る不利益なる狀況の下に作られたる將來の日本船舶に競争激しき世界海運界に活動する事不可能となり已を得ず外國建造の古船を高値に買ひ輸入するの時代となり造船業は一頓挫を來すへきを以て日本海運界及び造船業擁護の爲めには造船材料として輸入さるゝ鐵材を免税して獎勵金減額の埋合せを爲すを至當とすへく目下日本へ輸入せらるゝ鐵材の内造船用のもの約十分の一位に過ぎざれば假令免税とすると政府の收入には大して影響なかるへしと。(中外商業)

●八幡製鐵所屑鐵購買仕様書

第一項 屑鐵の種類左の如し

一種 軌條、鐵床、鋼鑄物、バッファ、鍊鐵、鋼鐵

製車輪、車軸、鋼塊及厚さ三分以上の鐵板類其の

他ポールト、ナット、スパイキ、ポンチ、リベット

ト條鐵等の極厚のもの。

二種 鑛山用軌條及第一種に屬せざるポールト、ナット、スパイキ、ポンチ、リベット、各種條鐵片其

の他厚さ一分以上の鐵板類其の他

三種 厚さ一分未満の鐵板類其の他

各種大さは幅一尺七寸長五尺以下にして各個の重量は一疋以下たるへし但し本項寸法外のものとは雖相當の割引にて購入することあるへし。

第二項 品質は銅、亞鉛、錫、鉛、硫黃、磷、其他有害物を混ぜざるものにして鑄の甚しからざるものとす。

大正五年度屑鐵購買價格は左の如し。

一、壹種(當所海岸船内渡し)壹匁金五拾圓也

一、貳種 同 金四拾圓也

一、參種 同 金貳拾五圓也

ワイヤロープ旋盤屑の如きは其の都度價格協定のこととす。以上

●製鐵業調査會廢止

去十五日閣議に於て決定したる大正五年五月五日勅令第二百二十四號に依り公布の製鐵業調査會官制は調査終了につき二十一日官報勅令第二百五十三號を以て廢止の旨公布せられたるが同時に會長農商務大臣委員島鐵道院技師外十九名幹事藤川、山内兩農商務書記官は自然廢職となりたり。